

FWX120

ファイアウォール



はじめにお読みください

ヤマハFWX120をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や
設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
本書はなくさないように、大切に保管してください。



はじめに
お読みください

はじめに

お買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品は中・小規模の企業ネットワークに適した、ファイアウォールです。

付属品をご確認ください

- LANケーブル(1本)
- はじめにお読みください(本書)
- CD-ROM(1枚)
- 保証書(本書19ページ)

本書の主な内容

本製品の概要

- 本製品でできること 13ページ
- 各部の名称とはたらき 15ページ

その他の情報

- 主な仕様 17ページ
- 本製品の保守サービスについて 18ページ
- サポート窓口のご案内 21ページ

他の説明書もご覧ください

本書は基本的な情報のみを記載しています

用途に合わせて、以下の説明書／ヘルプをご覧ください。

- **取扱説明書(CD-ROM)**：インターネットへの接続方法やフィルターの設定、運用管理など、本製品を使いこなすための情報が記載されています。
- **コマンドリファレンス(CD-ROM)**：コンソールコマンドを用いた、より詳細な設定方法が記載されています。
- **「かんたん設定ページ」のヘルプ**：各設定画面の設定項目について、詳しい説明が記載されています。「かんたん設定ページ」の「ヘルプ」をクリックしてください。

💡 ヒント

付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書およびコマンドリファレンスは、PDFファイル形式での提供となります。PDFファイルをご覧いただくためには、Adobe社のAdobe Reader[®]が必要になります。最新のAdobe ReaderはAdobe社のWebサイトより無料でダウンロードができます。Adobe Readerの操作について詳しくは、Adobe Readerのヘルプをご覧ください。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。

- Yamaha FWX120: 本製品
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tケーブル: LANケーブル

詳細な技術情報について

本製品を使いこなすためには、インターネットやネットワークに関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属の説明書などではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体や「かんたん設定ページ」の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります(本書は2012年8月現在の情報に基づいております)。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、弊社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

4~9ページに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

本書や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。

警告

本製品を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するには設計されていません。
- 本製品を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

 <p>必ず実行</p>	<p>下記の場合には、すぐに電源コードをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none">● 異常なおいや音がる● 煙が出る● 破損した● 水がかかった <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 必ず販売店に修理や点検をご依頼ください。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で本製品を扱わない。 感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>分解・改造は絶対にしない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ケーブルを傷つけない。</p> <ul style="list-style-type: none">● 重いものを上に載せない● 加工をしない● ステープルで止めない● 無理な力を加えない● 熱器具には近づけない <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>必ず日本国内AC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。 海外など異なる電源電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。 万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。</p>

 必ず実行	<p>電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。</p> <p>差し込みが不十分なまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>コンセントやテーブルタップの電流容量を確認し、本製品を使用してもこの容量を越えないことを確認する。</p> <p>テーブルタップなどが過熱、劣化して火災の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>各ポートの規格に適合したケーブルを接続する。</p> <p>本来とは異なるケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>ポート部を指や金属で触れない。</p> <p>感電や故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>本製品を落下させたり、強い衝撃を与えない。</p> <p>内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気があたる場所、腐蝕性ガスがかかる場所に設置しない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>放熱を妨げない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 布やテーブルクロスをかけない • 通気性の悪い狭いところへは押し込まない • 通風口をふさがない <p>本製品の内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴りはじめたら、本体や電源ケーブルには触れない。</p> <p>感電の恐れがあります。</p>
 必ず実行	<p>電源ケーブルのゴミやほこりは、定期的に取り除く。</p> <p>ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になります。</p>

注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

 禁止	不安定な場所や振動する場所には設置しない。 本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。
 禁止	直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。 故障の原因になります。
 禁止	環境温度が急激に変化する場所では使用しない。 環境温度が急激に変化すると、本製品に結露が発生することがあります。そのまま使用すると故障の原因になるため、結露が発生したときは電源を入れない状態で乾くまでしばらく放置してください。
 禁止	本製品を他の機器と重ねて置かない。 熱がこもり、故障の原因になります。
 禁止	電源を入れたままケーブル類を接続しない。 本製品および接続機器の故障の原因になります。
	本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去する。 静電気によって故障するおそれがあります。
	アースコードを接続することで、静電気対策やノイズ防止に効果があります。 アース接続は必ず、電源コードをコンセントに繋ぐ前に行ってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから取り外してから行ってください。

使用上のご注意

- 本製品のUSBポートにUSBデータ通信端末を接続して、3G/LTEモバイル網を利用したワイヤレスWAN接続ができます。データ通信端末のご契約が定額制であっても、設定を誤って使用すると従量制の通信料金がかかる場合があります。本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のUSBポートおよびmicroSDスロットは、すべてのUSBメモリおよびmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- USBメモリおよびmicroSDカードの動作確認は、「かんたん設定ページ」-「詳細設定と情報」-「外部デバイスの設定」画面の「外部メモリの性能テスト」欄で行うことができます。また、USBメモリおよびmicroSDカードについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/external-memory/>
- USBメモリおよびmicroSDカード上のデータは定期的にバックアップすることをお勧めします。本製品のご利用にあたりデータが消失、破損したことによる被害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は磁界が強い場所に設置しないでください。
- 本製品の同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないでください。
- 本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- 1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリ 5 (CAT5e)以上のLAN ケーブルをご使用ください。
- 本製品を譲渡する際は、本書および付属CD-ROMも合わせて譲渡してください。
- 本製品では、時計機能の電源バックアップのためにリチウム電池を使用しています。廃棄する際はお住まいの自治体の指示に従ってください。
- 本製品を譲渡/廃棄する際は、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)の「本製品を譲渡/廃棄する際のご注意」をご覧ください。以下の操作を行ってください。
 1. ネットボランチDNSの登録を削除する
 2. 設定内容を初期化する

重要なお知らせ

セキュリティ対策と本製品のファイアウォール機能について

インターネットを利用すると、ホームページで世界中の情報を集めたり、電子メールでメッセージを交換したりすることができ、とても便利です。その一方で、お使いのパソコンが世界中から不正アクセスを受ける危険にさらされることとなります。

特にインターネットに常時接続したり、サーバーを公開したりする場合には、不正アクセスの危険性を理解して、セキュリティ対策を行う必要があります。本製品はそのためのファイアウォール機能を装備していますが、不正アクセスの手段や抜け道(セキュリティホール)は、日夜新たに発見されており、それを防ぐ完璧な手段はありません。**インターネット接続には、常に危険がともなうことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、自己責任でセキュリティ対策を行うことを強くおすすめいたします。**

通信料金について

本製品を従量課金型回線サービス(データコネクト、3G/LTEモバイル網など)でお使いになる場合には、自動発信の機能をよくご理解の上で使用ください。本製品をパソコンやLANに接続した場合、本製品はパソコンのソフトウェア(電子メールソフトウェアやWebブラウザなど)が送信するデータや、LAN上を流れるデータの宛先を監視します。LAN以外の宛先があると、あらかじめ設定された内容に従って自動的に回線への発信を行います。そのため、**設定間違いや回線切断忘れがあると、ソフトウェアや機器が定期的にパケットを送信して、予想外の通信料金やプロバイダ接続料金がかかる場合があります。**

ときどき通信記録を調べて、意図しない発信がないかご確認ください。また、本製品の設定やリビジョンアップなどの最新情報を得るために、定期的にヤマハネットワーク周辺機器ホームページ(<http://jp.yamaha.com/products/network/>)をご覧ください。

以下の場合に、予想外の通信料金がかかっていることがあります

- 本製品を使い始めたとき
- 本製品のプロバイダ接続設定を変更したとき
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールしたとき
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続したとき
- 本製品のファームウェアをリビジョンアップしたとき
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じたときなど

ご注意

- プロバイダ契約を解除/変更した場合は、必ず本製品の接続設定を削除または再設定してください。削除しないままお使いになると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって、予想外の通信料金がかかる場合があります。プロバイダからの告知情報には常にご注意ください。

本製品の累積接続時間管理について

本製品を従量課金型回線サービス(3G/LTEモバイル網など)に接続して使用する場合、累積送受信データによる発信制限や、累積接続時間による発信制限をかけることができます。これらの機能は、本製品が計算する累積送受信データや累積接続時間に基づいて行われるため、サービス割引などによる異なる料金算出方法や、プロバイダ独自の通信時間算出方法には対応できません。

従って、実際の運用においては、発信制限動作が意図した通りにならない場合があります。正確を期す場合は、一定期間試験運用をするなどしてすぐれないかを確認してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波について

JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本製品で使用しているオープンソースソフトウェア

- PCRE
- MT19937
- OpenSSL
- Original SSLeay
- Net-SNMP

ライセンス条文について詳しくは、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)の付録をご覧ください。

商標について

- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。
- 本製品は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しております。RC4およびBSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。



DOWNLOADボタンご使用時のソフトウェアライセンス契約について

本製品の設定を変更することにより、DOWNLOADボタンを操作して、本製品の内蔵ファームウェアをリビジョンアップすることができます。

リビジョンアップを許可するように設定を変更する、および、DOWNLOADボタンを押してリビジョンアップを実行する、という操作は、ソフトウェアライセンス契約(以下「本契約書」)に同意したこととみなされます。ご使用になられる前に、必ず本契約書をお読みください。

本契約書の内容に同意していただけない場合には、DOWNLOADボタンの操作によるファームウェアのリビジョンアップを許可する設定に変更しないでください。過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本ソフトウェアに起因するお客様側の損害について一切の責任を負いません。

DOWNLOADボタンの詳しい操作方法は、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)にてご確認ください。

本書はお使いになる方がなくさないように大切に保管してください。

ソフトウェアライセンス契約

本契約は、お客様とヤマハ株式会社(以下、ヤマハといひます)との間の契約であって、ヤマハファイアウォール製品(以下「本製品」といひます)用ファームウェアおよびこれに関わるプログラム、印刷物、電子ファイル(以下「本ソフトウェア」といひます)をヤマハがお客様に提供するにあたっての条件を規定するものです。

「本ソフトウェア」は、「本製品」で動作させる目的においてのみ使用することができます。

本契約は、ヤマハがお客様に提供した「本ソフトウェア」および本契約第1条第(1)項の定めに従ってお客様が作成した「本ソフトウェア」の複製物に適用されます。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、「本ソフトウェア」をお客様が所有する「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストールして使用することができます。
- (2) お客様は、本契約に明示的に定められる場合を除き、「本ソフトウェア」を、再使用許諾、販売、頒布、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡し、特定もしくは不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトもしくはサーバー等にアップロードし、または、複製、翻訳、翻案もしくは他のプログラム言語に書き換えてはなりません。お客様はまた、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバース・エンジニアリング等してはならず、また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
- (3) お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるヤマハの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。
- (4) 本契約に明示的に定める場合を除き、ヤマハは、「本ソフトウェア」に関するヤマハの知的財産権のいかなる権利もお客様に付与または許諾するものではありません。

2. 所有権

「本ソフトウェア」は、著作権法その他の法律により保護され、ヤマハにより所有されています。お客様は、ヤマハが、本契約に基づきまたはその他の手段により「本ソフトウェア」に係る所有権および知的財産権をお客様に譲渡するものではないことを、ここに同意するものとします。

3. 輸出規制

お客様は、当該国のすべての適用可能な輸出管理法規や規則に従うものとし、また、かかる法規や規則に違反して「本ソフトウェア」の全部または一部を、いかなる国へ直接もしくは間接に輸出もしくは再輸出してはなりません。

4. サポートおよびアップデート

ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」のメンテナンスおよびお客様による「本ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「本ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートを行う義務もありません。

5. 責任の制限

- (1)「本ソフトウェア」は、『現状のまま (AS-IS)』の状態で使用許諾されます。ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示たると黙示たるとを問わず一切しないものとします。
- (2)ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない）について、一切責任を負わないものとします。たとえ、ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者がかかる損害の可能性について知られていた場合でも同様です。
- (3)ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

6. 有効期間

- (1)本契約は、下記 (2) または (3) により終了されるまで有効に存続します。
- (2)お客様は、「本製品」にインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。
- (3)お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。
- (4)お客様は、上記 (3) による本契約の終了後直ちに、「本製品」にインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去するものとします。
- (5)本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第2条から第6条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

7. 分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

8. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

9. 一般条項

お客様は、本契約が本契約に規定されるすべての事項についての、お客様とヤマハとの間の完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とヤマハとのあらゆるコミュニケーションに優先するものであることに同意するものとします。本契約のいかなる修正も、ヤマハが正当に授権した代表者による署名がなければ効力を有しないものとします。

10. 準拠法

本契約は、日本国の法令に準拠し、これにもとづいて解釈されるものとします。

本製品の お客様サポートについて(サポート規定)

ヤマハ株式会社は本製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

1. サポート方法

- ① FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等の Web 掲載
- ② 電話でのご質問への回答
- ③ お問い合わせフォームからのご質問への回答
- ④ カタログ送付
- ⑤ 代理店・販売店からの回答

ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただきます。場合があるため予めご了承のほどお願い致します。

2. サポート項目

- ① 製品仕様について
- ② お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③ 簡易なネットワーク構成での利用方法について
- ④ お客様作成の config の確認、及び log の解析
- ⑤ 製品の修理について
- ⑥ 代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- ① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。

また、サポートの結果又は製品をご利用いただいたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。

尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。

- ② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認められたものについて生産終了後 2 年間行います。
- ③ 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行います。
- ④ 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
- ⑤ 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。
- ⑥ お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑦ 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑧ オンライン保守・定期保守等は代理店にて有償で行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。
- ⑨ 他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関するサポートは弊社 Web 上に掲載している範囲に限定されます。
- ⑩ やむを得ない事由により本製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、返品・交換に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑪ 製品の修理は代理店・販売店経由で受けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便(国内発送のみ)にて行わせていただきます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。尚、保証期間中の無償修理(無償例外事項)等の詳細規定は保証書に記載しております。
- ⑫ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

本製品でできること

本製品は中・小規模の企業ネットワークに適した、ギガビットイーサネット対応のファイアウォールです。

透過型ファイアウォール機能

透過型ファイアウォール機能により、ネットワークの変更が難しい環境でも手軽にセキュリティーを高めることができます。既存ネットワークの設定を変更せずに導入ができるため、運用を止めることなくファイアウォール機能を追加することができます。

セキュリティーアドバイス機能

セキュリティーアドバイス機能は、「診断機能」「監視機能」「レポート機能」の3つで構成されています。「診断機能」は、運用前に脆弱な設定がされていないかをチェックします。「監視機能」は、運用中に攻撃者による侵入行為や攻撃行為をモニタリングします。「レポート機能」を利用し、トラフィックや異常発生状況を表示することで、直感的にネットワーク状況を判断することができます。

URLフィルター機能

URLフィルターの機能は、「内部データベース参照型URLフィルター」と「外部データベース参照型URLフィルター」の機能が搭載されています。内部データベース参照型URLフィルターは、URLの全部または一部をキーワードとして登録し、そのキーワードと一致した文字列を含むURLへのアクセスを制限することができます。また、フィルター設定時に送信元IPアドレスを指定することで、特定のホストまたはネットワークからの接続を制限することもできます。また、本製品をプロキシサーバーとして動作させることでHTTPSによるWebアクセスを制限することができます。外部データベース参照型URLフィルターは、外部のURLフィルタリングサービス事業者のデータベースに問い合わせ、アクセスを制限することもできます。

これにより、組織内のネットワーク利用者のWeb閲覧を簡単かつ的確に制限することができます。

DHCP 端末認証機能

使用を許可する端末(登録済み端末)と許可しない端末(未登録端末)を設定することで、許可の有無を区別しそれぞれの端末がアクセス可能なネットワークを制御することができます。

例えば、登録済み端末には社内・社外全てのネットワークへのアクセスを可能にし、未登録端末に対しては社内の特設セグメントへのアクセスを制限するなど、端末毎に異なるアクセス権を設定することが可能です。

ポリシーベースのフィルタリング設定

セキュリティーの設定は、階層的にポリシーを記述でき、設定意図もわかりやすく管理も容易にできます。おおまかなルールを決めて次第に詳細化することができます。

ファイル共有ソフトウェアの利用把握や制限が可能

ファイル共有ソフトウェア「Winny」「Share」による通信の検出/遮断に対応しています。ファイアウォール機能の不正アクセス検知機能を有効にすることで、「Winny」「Share」が利用するパケットを検出するとともに、該当パケットを破棄し、通信を遮断します。また、「Winny」「Share」のパケットを検出した場合、不正アクセス検知の履歴に記録するため、「Winny」「Share」を使用した端末の特定にも有効です。

ギガビットイーサ、3G/LTEモバイル通信に対応

FTTHやCATV、ADSLなどのブロードバンド回線用モデムに接続できるWAN接続用のポートを装備しています。また、USBポートに3G/LTEモバイル網に対応したデータ通信端末を接続して、モバイルインターネットを利用することもできます。

IPsec、L2TP/IPsecによる仮想プライベートネットワーク

本製品はIPsec、L2TP/IPsecに対応しているため、インターネット(ブロードバンド)回線を利用した仮想プライベートネットワーク(VPN)を構築する場合でも、より安全にデータをやり取りできます。

データコネクトに対応

フレッツ 光ネクストの「データコネクト」に対応しています。データコネクトを利用して、帯域が保証された通信で拠点間接続することができます。

かんたん操作

- 本製品は設定のための「かんたん設定ページ」を内蔵していますので、パソコンのWebブラウザを使って本製品の基本的な設定を変更できます。
- DOWNLOADボタンを押すだけで、内蔵ファームウェアをリビジョンアップ(バージョンアップ)できます。ご購入後に新しい機能が追加されても、リビジョンアップすることで最新の機能が利用できます。ファームウェアは本体に直接ダウンロードする以外に、パソコンからの転送やUSBメモリまたはmicroSDカードに保存したファームウェアを使用することもできます。

さまざまな外部メモリに対応

本製品の設定ファイルやログを、市販のUSBメモリ/microSDカードに保存できます。また、USBメモリ/microSDカードに保存したファームウェアや設定ファイルで、本製品を起動することもできます。

ヤマハスイッチの設定・管理が可能

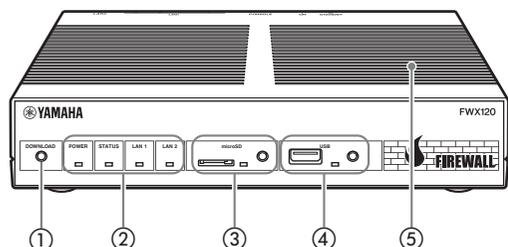
本製品はヤマハスイッチと連携して、ネットワーク構成やポート状態を「かんたん設定ページ」で表示することができます。また、ヤマハスイッチの各ポートの個別設定や、本製品とヤマハスイッチ双方を含むVLAN設定も一括で行うことができます。

充実のヤマハ周辺機器ホームページ

ヤマハネットワーク周辺機器ホームページ(<http://jp.yamaha.com/products/network/>、<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)で、ヤマハファイアウォールを使用した高度な活用例や詳しい解説をご覧ください。

各部の名称とはたらき

前面 / 上面



① DOWNLOAD ボタン

DOWNLOAD ボタンによるリビジョンアップを許可するように設定している場合は、このボタンを3秒間押し続けるとファームウェアのリビジョンアップを開始します。詳しくは、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)をご覧ください。

② ランプ

本製品の動作状態を示します。ランプの点灯状態と本製品の動作の関係については、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)をご覧ください。

- **POWER** : 本製品の電源の状態を示します。
- **STATUS** : 接続先の機器との通信状態を示します。
- **LAN1** : LAN1 ポートの使用状態を示します。
- **LAN2** : LAN2 ポートの使用状態を示します。

③ microSD ランプ、ボタン、スロット

市販のmicroSDカードを使用して、設定ファイルのコピーやログの保存、リビジョンアップを実行できます。

microSDカードを取り外す際は、microSDボタンを2秒間押し続けて接続を解除してから、microSDカードを取り外してください。

ご注意

挿入されているmicroSDカードを取り出して再度挿入する場合は、microSDカード全体を取り出してから、挿入してください。

④ USB ランプ、ボタン、ポート

市販のUSBメモリを接続して、設定ファイルのコピーやログの保存、リビジョンアップを実行できます。また、USB接続の通信端末を接続して、3G/LTEモバイル網を利用した通信を行うこともできます。詳しくは、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)をご覧ください。

USBデバイスを取り外す際は、USBボタンを2秒間押し続けて接続を解除してから、USBデバイスを取り外してください。

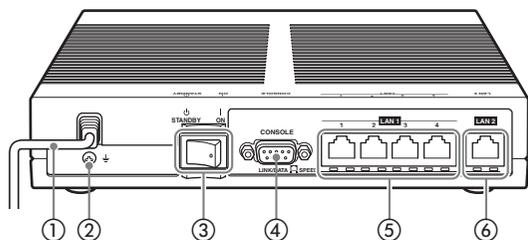
ご注意

USBメモリとUSBデータ通信端末以外のUSBデバイスは接続しないでください。本製品が故障する可能性があります。

⑤ 通風口

内部の熱を逃がすための穴です。

背面



① 電源コード

② アース端子

アースコードを接続します。

③ POWERスイッチ

本製品の電源のON/STANDBYを切り替えます。

④ CONSOLEポート

コンソールからの設定を行う場合に、パソコンのRS-232C端子(シリアルコネクタ)と接続します。詳しくは、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)をご覧ください。

⑤ LAN1ポート

パソコンのLANポートまたはハブのポートとLANケーブルで接続します。

各LAN1ポートの下部には、LINK/DATAランプ(左側)とSPEEDランプ(右側)があります。

- **LINK/DATAランプ**: リンク状態によって、消灯(リンク喪失)または点灯(リンク確立)、点滅(データ転送中)します。
- **SPEEDランプ**: 接続速度によって、消灯(100BASE-TX/10BASE-T)または点灯(1000BASE-T)します。

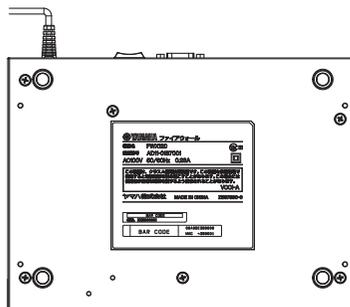
⑥ LAN2ポート

モデムやルーター、ハブなどとLANケーブルで接続します。

LAN2ポートの下部には、LINK/DATAランプ(左側)とSPEEDランプ(右側)があります。

動作については、LAN1ポートのランプと同様です。

底面



① 機器名

本製品の機器名が記載されています。

② 認証番号

本製品の認証番号が記載されています。

③ シリアル番号

製品を管理/区分するための製造番号が記載されています。

④ MACアドレス

LAN1側とLAN2側それぞれに付与されている機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。「00A0DE3B0000」、「MAC ~ 3B0001」という上図の例の場合、LAN1側とLAN2側それぞれのMACアドレスは以下のようになります。

- **LAN1側MACアドレス**: 00A0DE3B0000
- **LAN2側MACアドレス**: 00A0DE3B0001

主な仕様

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

220 mm × 42.6 mm × 160.5 mm
(突起部、ケーブル端子類は含まず)

質量：

本体870g

電源：

AC100 V (50/60 Hz)

消費電力：

最大11W

動作環境条件：

周囲温度 0～50℃
周囲湿度 15～80% (結露しないこと)

保管環境条件：

周囲温度 -20～50℃
周囲湿度 10～90% (結露しないこと)

電波障害規格：

VCCI クラスA

認証番号：

AD11-0187001

LAN1 インターフェース：

イーサネット(RJ-45)
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
4ポートスイッチングハブ
ストレート/クロス自動判別

LAN2 インターフェース：

イーサネット(RJ-45)
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
1ポート
ストレート/クロス自動判別

シリアルインターフェース：

DTE固定(パソコンとの接続はクロスケーブル)
ポート数：1
非同期シリアル：RS-232C
コネクタ：D-sub 9ピン
データ転送速度：9600bit/s
データビット長：8ビット
パリティチェック：なし
ストップビット数：1ビット
フロー制御：ソフトウェア(Xon/Xoff)

USBインターフェース：

USB 2.0 High-Speed 対応
給電電流：最大500mA
ポート数：1
コネクタ：USB Type-Aコネクタ

microSDインターフェース：

ポート数：1
コネクタ：microSDスロット

表示機能(LED)

前面：POWER、STATUS、LAN1、LAN2、
microSD、USB
背面：LINK/DATA、SPEED

付属品：

LANケーブル(3m、RJ-45、ストレート)(1本)
はじめにお読みください(本書)
保証書(本書19ページ)
CD-ROM (1枚)
(「はじめにお読みください(本書)」「取扱説明書」「コマンドリファレンス」などを収録)

本製品の保守サービスについて

保証期間

ご購入日から1年間です。

保証書について

保証書は本書の19ページに印刷されております。お買い上げ年月日・販売店などが確認できるシートなどと一緒に保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴します。

保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、ご購入の販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡の上、製品をご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引き続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡ください。

ただし、修理対応期間は製造打ち切り後5年間です。

ご注意

- 本製品を修理等の理由により輸送される場合には、お客様の責任において必ず本製品の設定を別の環境に保存してください。
- 本製品の設定を保存する方法につきましては、「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)の「本製品の設定情報とログを確認する」をご覧ください。
- 修理の内容によっては、設定を工場出荷時の状態にさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

無償修理規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、取扱説明書に記載されているヤマハサービス窓口にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書のお買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

- ※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますヤマハサービス窓口までお問い合わせください。
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動の為に利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

保証書

持込修理

この度はヤマハ製品をお買い上げ戴きましてありがとうございました。

本書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名 **ファイアウォール** 品番 **FWX120** 製造番号

お客様	ご住所 〒	お名前
		電 話 ()
販売店/住所/電話番号		
お買い上げ日 年 月 日 お買い上げ日から1年間です。		

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒に大切に保管してください。

サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書と取扱説明書をもう一度ご確認ください

本書と「取扱説明書」（付属CD-ROMに収録）をよくお読みになり、問題が解決できるかご確認ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様が使用されている本製品の状態を把握するために、弊社の担当者がログ(Syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まることがあります。

ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

1 パソコンでInternet Explorerを起動する。

2 アドレスバーに「http://192.168.100.1/」と半角英数字で入力してから、Enterキーを押す。

「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されます。

ご注意

LAN1ポートのIPアドレスを変更してある場合は、設定されているIPアドレスをアドレスバーに入力してください。

3 「ユーザー名」欄は空欄とし、「パスワード」欄に半角英字で「doremi」と入力してから、「OK」をクリックする。

「かんたん設定ページ」のトップページが表示されます。

ご注意

ユーザーが登録されている、またはパスワードが変更されている場合には、設定されているユーザー名とパスワードを入力してください。

4 「詳細設定と情報」をクリックする。

「詳細設定と情報」画面が表示されます。

5 ログ情報を確認したいときは「本製品のログ(Syslog)のレポート作成」、設定情報を確認したいときは「本製品の全設定(config)のレポート作成」の「実行」をクリックする。

本製品のログ情報または全設定情報が表示されます。

「取扱説明書」(付属CD-ROMに収録)の「本製品の設定情報とログを確認する」もあわせてご覧ください。

お問い合わせ窓口

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1330

FAX : 053-460-3489

ご相談受付時間

9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://jp.yamaha.com/products/network/>からサポートページにお進みください。

ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1330

FAX : 053-460-3489

ご相談受付時間

9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://jp.yamaha.com/products/network/>

ZF02840